



## 【尊い魂の救いとキリストの弟子を育む教会】

説教者: 鄭南哲牧師

本日聖書本文: 使徒の働き2章 40-47節(マタイ 28:18-20・ヨハネ 13:15・エペソ 4:11-12・マルコ10章42-45節)

信仰の家族のみなさん!今週一週間もう真夏日かと思われるほど、30度を超える猛暑の日々が続く見通しです。熱中症のリスクが一気に高まりそうなので、何よりもみなさんの健康が守られるように心からお祈り申し上げます。

本日礼拝中には事前にお知らせしたように、三重牧場から新しい美ら牧場が生み出され、スタートする事になります!!三重牧場は、今まで川副真生、まゆみ牧者夫婦と共に牧場家族が献身的な愛と仕えにより、毎週日曜日午後5時半から、川副牧者の家で集まり、共に食事を取り、共に分かち合い、共に祈り支え愛し合って来られた家の教会でした。ところが、急に川副牧者のお仕事の為、3年間ドイツのデュッセルドルフに駐在する事が決まり、ご家族で行くことになったので、今後どうすれば良いのか、に主の導きと御助けを求めつつ、祈って来る中で新しい沖縄宣教を支援する美ら牧場が生み出されるようになりましたが、実に、この美ら牧場が誕生する為に、欠かせないひかり牧場の牧者箕輪夫婦や牧場の家族、そして予備牧者福井夫婦の大きな献身と協力がありました。

まだ予備牧者がいない三重牧場家族の為、5年間ずっと一緒にやって来た予備牧者福井さん、レイディさんを派遣して下さった為、三重牧場の家族と一緒に新しく美ら牧場としてスタートする出来るようになり心から感謝し、同時に三重牧場も川副牧者夫婦がドイツで継続することになり本当に感謝、感謝です!

### 1. 聖書の御言葉通り信じ、従う信仰:基本が大切!(神中心・聖書中心・教会中心)とした信仰

聖書がそう言うならそれを認め、違うと言えば違うとうなずき、聖書がやれと言えばやり、やるなど言えばやらない

### 2. 可能であれば、全ての力を尽くして新約聖書が教える教会の姿に近づこうと努力する。(家の教会)

(1)地上初めて初代教会であったエルサレム教会の姿?1万人以上のメガ教会でした。どうして?どう礼拝したのか。

\*使徒の働き4章4節「みしかし、みことばを聞いた人々のうち大勢信じ、男の数が五千人ほどになった。」

\*使徒の働き2章40-41節「40 ペテロは、ほかにも多くのことばをもって証しをし、「この曲がった時代から救われなさい。」と言って彼らに勧めた。41 そこで、彼のことばを受け入れた者は、バプテスマを受けた。その日、三千人ほどが仲間に加えられた。」

\*通常の集まり、以外の集まりはどうしたのか?(家の教会)の姿であった。

\*使徒の働き2章 46-47 節

「46 そして毎日、心をつつにして宮に集まり、家々でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、

47 神を賛美し、民全体 から好意を持たれていた。主は毎日、救われる 人々を加えて一つにしてくださいました。」

初代教会、エルサレム教会を含め、1世紀のクリスチャンたちには、激しい迫害の中であつてもリバイバルが起こり、多くの救われ、信じる者たちが起された理由も、聖霊の満たしとお働きが教会この家の教会の中で表れ、用いられたから可能であったことが分かります。激しい迫害の中で、すでに家の教会が定着して来たことが分かります。

(使徒の働き8章3節)使徒パウロがまだ信じる前サウロの時、信じる者たちを迫害した時:

「サウロは家から家に押し入って、教会を荒らし、男も女も引きずり出して、牢に入れた。」

使徒の働き10:22-24

「すると、彼らはこう言った。「正しい人で、神を恐れ、ユダヤの全国民に評判の良い百人隊長コルネリウスが、あなたを自分の家に招いて、あなたからお話を聞くようにと、聖なる御使いによって示されました。24そして次の日、ペテロはカイザリアに着いた。コルネリウスは、親族や親しい友人たちを呼び集めて、彼らを待っていた。」

以後立てられた初代の教会たちの姿

① ローマにある教会(ローマ人への手紙16章3・5・14-15節)

「キリストイエスにあって私の同労者であるプリスカとアクラによりよく伝えてください。5またその家の教会によりよく伝えてください。14アスクリト、フレゴン、ヘルメス、パトロバ、ヘルマスおよびその人たちといっしょにいる兄弟たちによりよく。」

15 フィロロゴとユリヤ、ネレオとその姉妹、オルンパおよびその人たちといっしょにいるすべての聖徒たちによろしく。」

## ② ラオデキヤにある教会(コロサイ人への手紙4章15節)

「どうか、ラオデキヤの兄弟たちに、またヌンパとその家にある教会に、よろしく言ってください。」

## ③ ピレモンの家の教会(ピレモン1章2節)

「姉妹アピヤ、私たちの戦友アルキポ、ならびにあなたの家にある教会へ。」

### 3. (家の教会)は一時的な教会状態ではなく、主イエスキリストが目指していた教会の姿であります。

#### (1) 主イエス様が望んでおられた教会共同体は(家族共同体)であった。(マタイの福音書 12章49-50節)

「それから、イエスは手を弟子たちのほうに差し伸べて言われた。「見なさい。わたしの母、わたしの兄弟たちです。50天におられるわたしの父のみこころを行なう者はだれでも、わたしの兄弟、姉妹、また母なのです。」

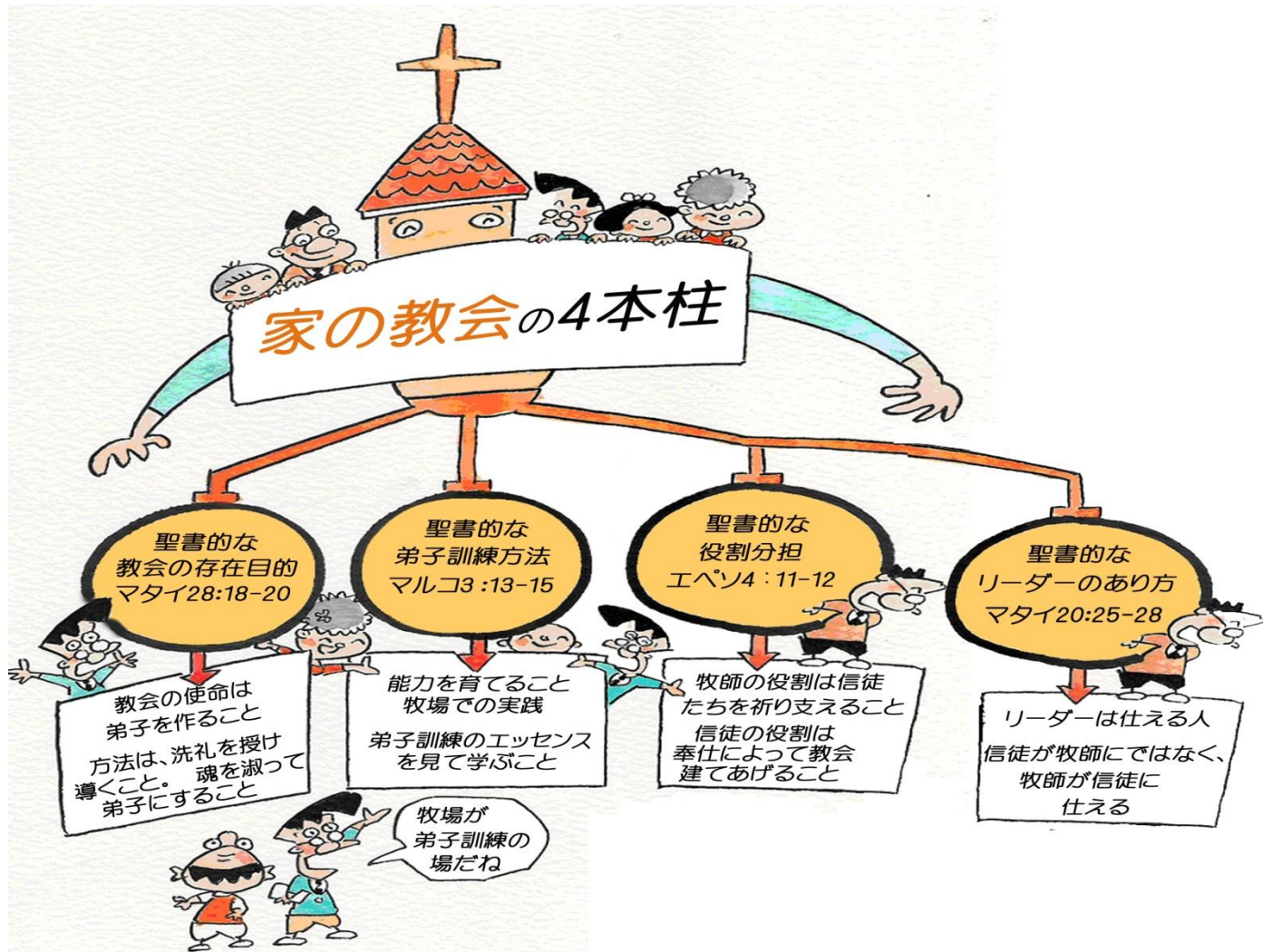
#### (2) エルサレム教会も(家の教会)であった。(使徒の働き 2章46-47節)

「そして毎日、心を一つにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、47 神を賛美し、すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。」

#### (3) 使徒パウロも信徒同士の間(家族関係)を願っていた。(テモテへの手紙第一 5章1-2節)

「年寄りをしかってはいけません。むしろ、父親に対するように勧めなさい。若い人たちには兄弟に対するように、年とった婦人たちには母親に対するように、若い女たちには真に混じりけのない心で姉妹に対するように勧めなさい。」

## 4. 家の教会の4本柱



#### (1) 教会の存在目的 (マタイの福音書28章18節—20節)

「18イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。19ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを受け、20わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」

- ①教会の使命は(イエスキリストの弟子)作りである。
- ②方法は行って・バプテスマを授け・教えることである。
- ③神が愛しておられる尊い(たましいを救い)、(イエスキリストの弟子を作る)ことが教会の究極的存在目的である。

## (2)イエスキリストの弟子訓練方式(マルコの福音書3章13-15節)

- ①知識伝達よりは能力養成であった。
- ②教室講義よりは現場実習であった。
- ③教えて弟子をつくろうとするよりは見せることで弟子をつくろうとされた。
  - \* イエス様はご自身で直接(模範)を示して学ばせた。(ヨハネの福音書13章15節)
  - 「わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしはあなたがたに模範を示したのです。」
  - \* パウロも自分に(見ならいなさい)と言った。(コリント人への手紙第一11章1節)
  - 「私がキリストをみならっているように、あなたがたも私を見ならってください。」
  - \* ペテロも長老たちに(模範)となりなさいと言った。(ペテロの手紙第一5章3節)
  - 「あなたがたは、その割り当てられている人たちを支配するのではなく、むしろ群れの模範となりなさい。」

## (3)聖書的な働きと奉仕の分担(エペソ人への手紙4章11-12節)

- 「こうして、キリストご自身がある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師としてお立てになりました。それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためである。」
- \* 神の栄光のため主に用いられる奉仕ができるように訓練させる。
- \* 神の栄光のため主に用いられる奉仕ができるように適所に任命する。
- ②聖徒の働きは神が喜ばれる奉仕の働きをし、キリストの教会を立て上げることである。
- ③牧会者の働きは聖徒たちを整えること以外に祈りと御言葉を正しく伝え、聖徒一人一人が聖書的なリーダーシップを発揮できるように助け、支え、仕えることである。

## (4)聖書的なリーダーシップ:(仕える)リーダーシップ(マルコの福音書10章42-45節)

「42 そこで、イエスは彼ら呼び寄せて、言われた。「あなたがたも知っているとおりに、異邦人の支配者と認められた者たちは人々に対して横柄にふるまい、偉い人たちは彼らの上に権力をふっています。43しかし、あなたがたの間では、そうであってはなりません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、皆に仕える者になりなさい。44 あなたがたの間で先頭に立ちたいと思う者は、皆のしもべになりなさい。45 人の子も、仕えられるためではなく仕えるために、また多くの人のための贖いの代価として、自分のいのちを与えるために来たのです。」

- ①人生の目的は(仕える)ことにある。
- ②(神のしもべ)になるのは、神が望んでおられるところに、神が望んでおられる働きを、神が望んでおられる方法で遂行することである。
- ③(隣人のしもべ)になるのは、隣人を成功させてあげる人になることである。
- ④霊的権威は(仕える)ことから生まれる。

## 5. 家の教会の3つの軸 (初代教会の家の教会ではこの3つの要素とバランスがあった。)

(1)家族共同体を経験する家での集まり(牧場と名付ける):人間の(情的な)部分が触れられるところ。

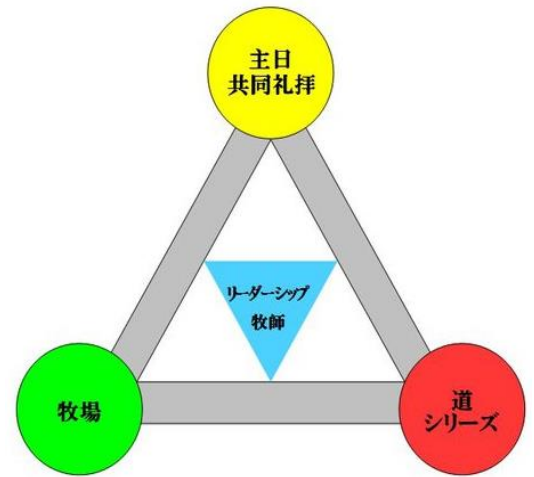
- ①未信者が主イエスを信じるようになる。
- ②既信者の生き方が変わる。

2. 体系的な聖書学び(道シリーズ聖書学び):人の(知的な)部分が触れられるところ。

- ①未信者が福音を理解する。
- ②既信者が御言葉による新たな生き方を体験する。

### 3. 毎週恵み溢れ決心を促す(主日共同礼拝): 人の(意思的な)部分が触れられるところ。

- ①未信者が信じる決心をする。
- ②既信者が献身を決心する。



### 『家の教会使命宣言文』

1. 新約時代の教会の回復を目指す。なるべく新約聖書に近い組織、活動(使徒2:42)、働きの方法(使徒2:46-47)、リーダーシップスタイル(マタイ20:26-27)を形成する。
2. 教会成長より魂の救いを優先する。神は、すべての人が救われるのを望んでおられると信じるからである(1テモテ2:4)。
3. 未信者を伝道して主の弟子にする事を教会の存在目的とする。これは、主が教会を建てられた目的であると信じるからである(マタイ28:18-20)。
4. 知識の伝達より能力の養成・教室の教育より現場の実習、ことばで教えるより行動で示す方法を弟子訓練の方法とする。これがイエス様の方法だと信じるからである。(マルコ3:14-15)
5. 牧会者と信徒をそれぞれの召しに歩ませる。牧会者は信徒を整え(エペソ4:11-12前半)、祈りと御言葉の努め(使徒6:2-4)、リーダーシップを発揮することに集中する(使徒20:28)。信徒は奉仕の働きと主の教会を建て上げる働きをする(エペソ4:12後半)。
6. セルグループや小グループではなく、新約時代の教会の共同体を追求する。  
家の教会の基礎共同体である牧場が新約時代の教会共同体となるために次の事項を守る。
  - (1)毎週集まる(使徒20:7)
  - (2)男女共に集まる(ローマ16:3-5)
  - (3)信徒と未信者共に集まる(1コリント14:23-25)

(職制・礼典・説教などの諸般については各牧会者の神学背景と所属教団教派の伝統を尊重する。)

